

# 老いと介護 演劇の力

参加者募集！〈要事前申込〉

舞台芸術が、社会課題の解決に成果を挙げている事例が多くみられるようになってきました。

その中でも、地域において「介護」と「演劇」を結びつけるユニークな活動を展開し、多方面から注目を集めている俳優で介護福祉士である菅原直樹氏を講師に迎え、「演劇の力」について考える座学とワークショップを行います。

演劇、介護経験は問いません。介護に携わる方、関心がある方、演劇や舞台芸術に興味のある方、社会課題に文化芸術の活用を検討されている方など、ぜひお気軽にご参加ください。

2019年

12/14 土

座学

13:00~14:00

ワークショップ

14:30~17:30

会場：福岡県立ももち文化センター 小ホール

講師：菅原直樹

1983年栃木県宇都宮生まれ。

俳優、介護福祉士。

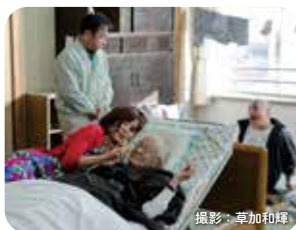
老いと演劇「OiBokkeShi」主宰。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。青年団に俳優として所属。小劇場を中心に前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大、田上豊の作品などに出演する。2010年より特別養護老人ホームの介護職員として働く。2012年、東日本大震災を機に岡山県に移住。

認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。これまでの作品に『よみちにひはくれない』、『老人ハイスクール』、『BPSD: ぼくのパパはサムライだから』、『カメラマンの変態』など。第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞（芸術振興部門）受賞。



撮影：草加和輝

「老いと演劇」 OiBokkeShi (オイ・ボッケ・シ)



撮影：草加和輝

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、2014年に岡山県にて設立。看板俳優は、認知症の妻を在宅で介護する岡田忠雄（93歳）。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。

超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチするその活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集める。

主催：福岡県立ももち文化センター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金  
（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
独立行政法人日本芸術文化振興会



座学

「介護と演劇は相性がいい!？」

俳優・介護福祉士としての経験や OiBokkeShi の活動を紹介いただき、介護現場で演劇がどのように活用されているのか、またその可能性について考えます。

時間 2019年12月14日(土) 13:00~14:00

定員 50名程度(先着順 定員になり次第締切)

料金 500円

※座学のみ、もしくは座学+ワークショップのいずれかでお申し込みください。  
ワークショップのみの参加は受付ておりません。

ワークショップ

「老いと介護を演じて考えよう！」

介護現場で実践されている演劇的手法や、認知症の人の言動を「演技」で自然に受け止めるワークを体験し、コミュニケーションの本質に触れます。「老いと介護」を体を動かして考えてみましょう！

時間 2019年12月14日(土) 14:30~17:30

定員 20名(先着順 定員になり次第締切)

料金 1,000円(座学とワークショップ)

※座学のみ、もしくは座学+ワークショップのいずれかでお申し込みください。  
ワークショップのみの参加は受付ておりません。

申込み方法

「座学のみ」または「座学+ワークショップ」の参加希望を明記の上、下記の必要事項をご記入の上、メールでお申込みください。

- ①お名前
- ②年齢
- ③ご所属・職種
- ④電話・携帯番号
- ⑤メールアドレス
- ⑥参加動機・学びたいことなど(あれば)

お申込み・お問い合わせ

〒814-0006 福岡市早良区百道二丁目3番15号

TEL:(092)851-4511 FAX:(092)851-4545

メールアドレス: info@momochi-palace.net